

司研企一第390号

(人ろ-08)

平成25年10月21日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成25年度判事任官者実務研究会の実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから、貴庁管内の対象者を参加させてください。

なお、参加対象者を11月1日（金）までに報告してください。

記

1 研究期間

平成26年1月29日（水）から同月31日（金）までの3日間

2 研究場所

司法研修所

3 対象者

- (1) 平成15年10月に司法修習を終え、平成25年10月に判事に任官した者
- (2) (1)に準ずる者
- (3) 平成23年度判事任官者実務研究会及び平成24年度判事任官者実務研究会に参加しなかった（在外研究及び行政官庁への出向等の事由による場合を除く。）第54期及び第55期の判事のうち、参加を希望する判事

4 研究内容

民事、刑事、行政、家事及び少年の裁判実務のほか、司法行政の適切な運営のための諸方策及び裁判官の在り方の研究等

5 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

司研企一第401号

平成25年10月21日

最高裁判所事務総局人事局長 殿

司法研修所長 山 名 学

平成25年度判事任官者実務研究会の実施について（通知）

標記の実務研究会を下記のとおり実施しますから、人事局付渡邊達之輔，民事局付向井宣人，刑事局付根崎修一及び家庭局付松永智史を参加させてください。

記

1 研究期間

平成26年1月29日（水）から同月31日（金）までの3日間

2 研究場所

司法研修所

3 研究内容

民事，刑事，行政，家事及び少年の裁判実務のほか，司法行政の適切な運営のための諸方策及び裁判官の在り方の研究等

4 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所の宿舎を用意する。

平成25年11月25日

平成25年度判事任官者実務研究会参加者 殿

司法研修所事務局長 吉 崎 佳 弥

平成25年度判事任官者実務研究会について（事務連絡）
標記の研究会について、下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所、宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

平成26年1月29日（水）午前9時30分 当研修所別館 研修棟3階受
付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を
用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は、研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

- 1 日程表 (案)
- 2 参加者名簿

日 程 表 (案)

月 日 曜			実 施 内 容										
29	水	9:40	9:50	11:45	12:45	14:45	15:00	17:20				※	
		所長あいさつ	講演 「マネジメントとはどういうものか」 (仮題) 大学大学院教授 代表	説明 「裁判所の組織と制度」 総務局第一課長 大須賀 寛 之 人事局給与課長 朝 倉 佳 秀 情報政策課参事官 中 尾 彰	報道記者との座談会 「司法に求められるもの」(仮題) A班 記 者 ○ ○ ○ ○ 記 者 ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○ B班 記 者 ○ ○ ○ ○ 記 者 ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○ C班 記 者 ○ ○ ○ ○ 記 者 ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○ D班 記 者 ○ ○ ○ ○ 記 者 ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○								
1	30	木	9:40	10:20	10:30	12:00	13:00	14:40	15:00	17:00			
			説明 「各裁判分野の事件処理の現状と課題(1)」 家庭局 第一課長 馬渡直史 (40分)	講演 「法的バリアフリーについて」(仮題) 大学 教授	講演 「国際機関の現場から見た人権」(仮題) 東京事務所長	講演と意見交換 「判事任官者への期待」 人事局長 安 浪 亮 介 人事局任用課長 前 澤 達 朗							
31	金		9:40	10:30	10:30	11:00	11:40	12:40	14:10	14:30	17:00		
			説明 「各裁判分野の事件処理の現状と課題(2)」 民事局 第一課長 岡崎克彦 (50分)	10:30	11:00	11:40	講演 「 におけるリベラルアーツ教育の取り組み」(仮題) 株式会社	意見交換(班別) 「これまでの10年、これからの10年」(仮題) 1・2班 司研教官 ○ ○ ○ ○ 3・4班 司研教官 ○ ○ ○ ○ 5・6班 司研教官 ○ ○ ○ ○ 7・8班 司研教官 ○ ○ ○ ○ 9・10班 司研教官 ○ ○ ○ ○ 11・12班 司研教官 ○ ○ ○ ○					

※ 懇談会を予定

平成25年度判事任官者実務研究会

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	最高裁人事局	渡 邊 達 之 輔	
	最高裁民事局	向 井 宣 人	
	最高裁刑事局	根 崎 修 一	
	最高裁家庭局	松 永 智 史	
	東京地裁	木 山 智 之	
		国 分 史 子	
		内 藤 恵 美 子	
		内 田 哲 也	
		小 川 弘 持	
		川 嶋 知 正	
		酒 井 孝 之	
		佐 藤 哲 郎	
		芝 本 昌 征	
		鈴 木 清 志	
		内 藤 寿 彦	
		古 市 文 孝	
		森 川 さ つ き	
		山 下 真 子	
		渡 辺 美 紀 子	
	東京地裁立川支	諸 徳 寺 聡 子	
	東京家裁立川支	貝 阿 彌 千 絵 子	
	横浜地裁小田原支	栗 原 志 保 子	
	横浜家裁川崎支	古 市 朋 子	
	さいたま地裁熊谷支	村 田 千 香 子	
	水戸地裁	大 畠 崇 史	
		久 次 良 奈 子	
	水戸地裁土浦支	小 沼 日 加 利	
	水戸家裁	澁 谷 輝 一	
	宇都宮家裁	芝 田 由 平	
	前橋家裁高崎支	村 岡 聖 子	
	静岡家裁沼津支	薄 井 真 由 子	
	長野地裁諏訪支	佐 藤 久 貴	
	新潟地裁	筈 井 卓 矢	
	大阪地裁	熊 谷 陽 子	
		財 津	
大阪			

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
大阪	大阪地裁	長 丈 博 長 銀 哉 西 昌 吾 斗 匡 志 松 晋 介 溝 岡 優 諸 岡 子 諸 岡 介 富 張 紀 長 島 子 渡 邊 昭 光 本 洋 小 山 子 皆 川 更 小 坂 之 伊 藤 介 佐 木 憲 山 下 人 菅 野 彦 山 原 奈 小 松 大 石 田 彦 高 嶋 卓 高 嶋 子 國 分 進 國 分 綾 水 橋 巖 下 山 誠 河 端 子 力 元 雄 上 田 瞳 片 瀬 亮 長 川 治 村 上 子 新 海 子	
	大阪地裁堺支		
	大阪家裁		
	京都地裁		
	京都地裁福知山支		
	京都家裁		
	神戸家裁伊丹支		
名古屋	名古屋高裁		
	名古屋地裁		
	名古屋地裁一宮支		
	津地裁		
	津地裁熊野支		
	岐阜地裁		
	岐阜地裁御嵩支		
	福井地裁		
	富山地裁		
	富山地裁高岡支		
広島	広島高裁		
	広島家裁		
	山口地裁萩支		
	岡山家裁		
	岡山家裁津山支		
	鳥取地裁		
	鳥取地裁米子支		
福岡	福岡地裁		
	福岡家裁		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	福岡家裁田川支	吉 澤 邦 和	
	長崎地裁五島支	小 川 曉	
	長崎地裁巖原支	佐々木 公	
	大分地裁	大 島 広 規	
	熊本地裁	大河村 宜 信	
仙台		堀 内 元 城	
	鹿児島地裁	杉 本 敏 彦	
	那覇地裁石垣支	小 川 卓 逸	
	仙台家裁古川支	西 尾 洋 介	
	盛岡地裁	川 尻 恵 理 子	
	盛岡地裁花巻支	塚 原 洋 一	
	盛岡地裁遠野支	木 村 匡 彦	
	秋田地裁	太 田 雅 之	
	秋田地裁能代支	伊 東 智 和	
	秋田地裁横手支	松 村 一 成	
札幌	青森地裁弘前支	森 大 輔	
	札幌地裁	大久保 俊 策	
		南 宏 幸	
高松	札幌家裁	佐 藤 隆 幸	
	旭川地裁	立 野 み ず	
	高松地裁	本 間 明 日 香	
	松山地裁大洲支	鈴 木 基 之	

合計 92 人

日 程 表

月 日 曜			実 施 内 容										
			9:40	9:50	11:45	12:45	14:45	15:00	17:20				
			所長 あいさつ	講演 「なぜ、マネジメントが壁に突き当たるのか」 大学大学院教授 代表		説明 「裁判所の組織と制度」 総務局第一課長 大須賀 寛之 人事局給与課長 朝倉 佳秀 情報政策課参事官 中尾 彰		報道記者との座談会 「司法に求められるもの」 A班 記者 記者 司研教官 藤井 敏明 B班 記者 記者 司研教官 近藤 昌昭 C班 記者 記者 司研教官 伊藤 雅人 D班 記者 記者 司研教官 原 克也	※				
29		水											
1			9:40	10:20	10:30	12:00	13:00	14:40	15:00	17:00			
			説明 「各裁判分野の事件処理の現状と課題(1)」 家庭局 第一課長 馬渡直史 (40分)	講演 「法とバリアフリー」 大学 教授		講演 「国際機関の現場から見た人権 - 女性と開発」 東京事務所長		講演と意見交換 「判事任官者への期待」 人事局長 安浪 亮介 人事局任用課長 前澤 達朗					
30		木											
			9:40	10:30	10:30	11:00	11:40	12:40	14:10	14:30	17:00		
			説明 「各裁判分野の事件処理の現状と課題(2)」 民事局 第一課長 岡崎克彦 (50分)	10:30	11:00	11:40	講演 「の リベラルアーツ研修について」 株式会社		意見交換(班別) 「これまでの10年, これからの10年」 1班 司研教官 藤井 敏明 2班 司研教官 近藤 昌昭 3班 司研教官 伊藤 雅人 4班 司研教官 原 克也 5班 司研教官 山崎 栄一郎 6班 司研教官 藤澤 裕介				
31		金											

※ 懇談会を予定

平成25年度11月13日

平成25年度判事任官者実務研究会の実施要領

1 講演「マネジメントとはどういうものか」(仮題) [1日目9:50~11:45]

大学大学院教授、代表の氏を講師に迎え、マネジメントの重要性について講演していただく予定である。

2 説明「裁判所の組織と制度」 [1日目12:15~14:45]

総務局第一課長、人事局給与課長及び情報政策課参事官から、各局課の所管事項等について説明していただく予定である。

3 報道記者との座談会「司法に求められるもの」(仮題) [1日目15:00~17:20]

新聞社、通信社、放送局の報道記者合計8人に参加していただき、4班に分かれて、裁判所や裁判官が外部からどのように見られているか、裁判所からの情報発信の在り方、裁判や裁判所を巡る報道の在り方等に関し、座談会形式で意見交換を行う予定である。

4 説明「各裁判分野の事件処理の現状と課題」 [2日目9:40~10:20, 3日目9:40~11:40]

民事局、行政局、刑事局及び家庭局の各課長から、それぞれの裁判分野における事件処理の現状と課題について説明していただく予定である。

5 講演「法的バリアフリーについて」(仮題) [2日目10:30~12:00]

大学教授氏を講師に迎え、現代社会に生きる障害者の方が社会生活上のバリアと感じていることなどについて講演していただく

く予定である。

6 講演「国際機関の現場から見た人権」（仮題） [2日目 13:00～14:40]

東京事務所長 氏を講師に迎え、国際人権に関する問題などについて、講演していただく予定である。

7 講演と意見交換「判事任官者への期待」 [2日目 15:00～17:00]

人事局長及び人事局任用課長から、判事任官者に対して期待すること等についてお話ししていただいた後、意見交換を行う予定である。

8 講演「におけるリベラルアーツ教育の取組み」（仮題） [3日目 12:40～14:10]

リベラルアーツ教育を社員教育の重要な柱と位置付けている 株式会社の 氏を講師に迎え、リベラルアーツの意義やリベラルアーツを身に付けることの重要性、同社におけるリベラルアーツ教育の取組み等について、講演していただく予定である。

9 意見交換（班別）「これまでの10年、これからの10年（仮題）」 [3日目 14:30～17:00]

判事補時代の10年を振り返って、裁判官としての自らの成長の程度を再確認するとともに、今後10年間でどのような裁判官になることを目指し、そのために何にどのように取り組むべきかを考えるきっかけとしてもらうためのプログラムである。

10班に分かれ、本研究会の別のプログラム（「司法に求められるもの」「におけるリベラルアーツ教育の取組み」等）で学んだことも踏まえて、これからのあるべき裁判官像等について意見交換を行う予定である。